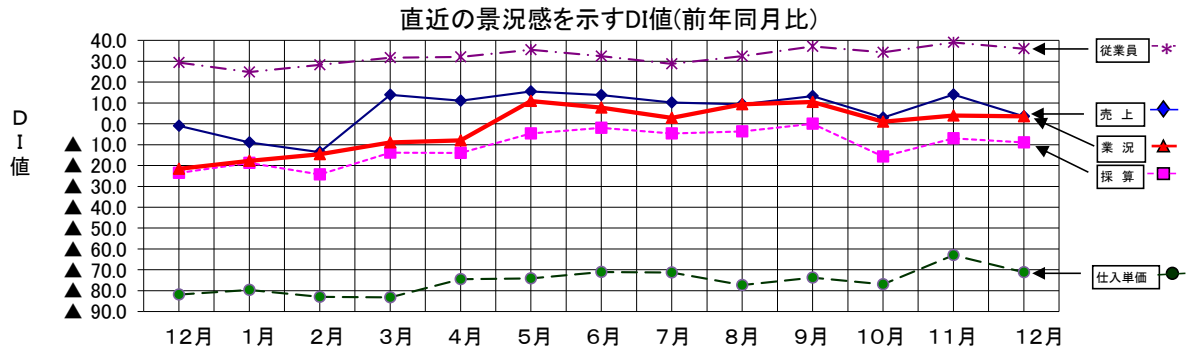


早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 12月分

【12月の概要】DI値は一部を除き総じて悪化、「売上」は2ケタ台の落ち込みとりわけ人手不足への向き合い方が当面の課題

直近の景況感を示すDI値は、「従業員」を除き全ての項目で悪化し、「売上」は10.4ポイントと2ケタの悪化となった。先行き見通しを示すDI値は、全ての項目で悪化。なかでも「売上」は21.7ポイントと大幅に悪化しており、昨年12月以来、12か月ぶりにマイナス水準に転じた。

コメントでは、2024年問題をはじめインボイス制度や電子帳簿保存法、ライドシェアへの対応など、人手不足から来る様々な問題が経営に影響を及ぼしている様子が見受けられる。物価高騰の影響も深刻であり、引き続き厳しい経営環境は続くと思われる。人手不足の状況と向き合いながら、政府の経済対策を注視していく。



【直近の景況感を示すDI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合) ※従業員=(不足)-(過剰) (Diffusion Index の略)

	2022年12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	2023年12月
売上	▲ 1.0	▲ 8.9	▲ 13.6	13.9	11.0	15.5	13.7	10.2	9.3	13.3	2.9	14.0	▲ 3.6
採算	▲ 23.5	▲ 18.8	▲ 24.3	▲ 13.9	▲ 14.0	▲ 4.6	▲ 2.0	▲ 4.6	▲ 3.7	0.0	▲ 15.7	▲ 7.0	▲ 9.0
業況	▲ 21.6	▲ 17.8	▲ 14.6	▲ 8.9	▲ 8.0	10.9	7.8	2.8	9.3	10.5	1.0	4.0	▲ 3.6
仕入単価	▲ 81.9	▲ 79.7	▲ 83.0	▲ 83.2	▲ 74.5	▲ 74.1	▲ 71.1	▲ 71.3	▲ 77.3	▲ 73.8	▲ 77.0	▲ 63.0	▲ 71.2
従業員	29.4	24.8	28.2	31.7	32.0	35.5	32.4	28.7	32.4	37.1	34.3	39.0	36.0

- ・プラス幅が減少したDI値：売上▲10.4ポイント、業況▲0.4ポイント、従業員▲3.0ポイント（需給均衡局面へ）
- ・マイナス幅が増加したDI値：採算▲2.0ポイント、仕入単価▲8.2ポイント

【向こう3か月間の先行き見通しを示すDI】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
10月	10.8	▲ 1.0	7.8	▲ 50.0	38.2
11月	19.0	▲ 2.0	2.0	▲ 35.0	35.0
12月	▲ 2.7	▲ 9.0	▲ 6.3	▲ 40.5	36.0

- ・見通しが悪化したDI値：売上▲21.7ポイント、採算▲7.0ポイント、業況▲8.3ポイント、仕入単価▲5.5ポイント、従業員1.0ポイント（人手不足局面へ）

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	建 材	電線（銅製品）の一部で品薄と値上げがみられ、困っている。
	電気工事	インフルエンザの流行で作業できない現場が出てきており、売上、採算の減少が懸念される。
製造業	印 刷	2024年問題や物流の変化、インボイス制度に振り回されている。
	鋼 材	人材確保・維持のための給与・賞与の増額が利益減要因となりそう。
卸売業	水産物	小規模零細企業では知識や人員に乏しく、インボイス制度や電子帳簿保存法への対応が大変。
	青 果	夏場の猛暑の影響から、果樹は生産量が大幅に減少し、相場は単価高で推移することが予想される。
小売業	ホームセンター	今年は暖冬が予想されており、天候条件の影響による季節商品の反動減が予想される。
サービス業	タクシー	燃料費や諸物価の高騰で採算がとれない状況。また、業界では乗務員不足からライドシェアの導入議論が活発になってきた。
	運 輸	2024年問題への対応として、ドライバー確保を積極的に行なっているが、募集をしても集まらない状況。
	ホ テ ル	自粛からの反動利用が落ち着いてきたことで、コロナ禍前と似たような状況になりつつある。